



J. FRONT RETAILING

2023年7月14日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表執行役社長 好本 達也
 お問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
 TEL 03-6865-7621

2023年6月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告 (IFRS)

1. セグメント別売上収益 (売上高) (対前年増減率: %)

	売上収益 (IFRS)		(参考)総額売上高	
	6月度	上期累計	6月度	上期累計
百貨店事業	10.6	10.9	13.4	14.3
SC事業	5.0	7.6	13.4	15.0
デベロッパー事業	39.1	27.6	42.9	30.4
決済・金融事業	▲ 0.4	1.8	▲ 0.4	1.8
その他	12.8	6.3	12.3	6.0
連結合計	14.5	14.2	15.1	15.9

※注) 1. 当社は2017年3月から国際会計基準 (IFRS) を任意適用しています。
 2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業」の純額取引をテナント取扱高 (総額ベース) に置き換えて算出しています。
 3. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
 4. 津田沼PARCOは、2023年2月末日をもって営業を終了しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 6月度の売上高は、ラグジュアリーブランド、化粧品の上昇がいずれも対前年3割増となり、大きく牽引した。また婦人服ではワンピース、ジャケットなどが2桁増となり、旅行用品やアウトドア用品も好調に売上を伸ばすなど、その他の商品分野も堅調に推移した。
- 大丸松坂屋百貨店合計では対前年13.4%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同13.4%増となった。大丸松坂屋百貨店の国内売上高 (免税売上の本年・前年実績を除く) は対前年5.1%増であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の7月度の既存店売上 (法人・本社等を除く) は、ラグジュアリーブランド、化粧品が引き続き好調を維持し、クリアランスセールも堅調に推移していることに加え、訪日外国人売上も前年の約5.3倍と大きく伸長していることなどから、13日までの累計で対前年11.4%増 (対2019年度0.6%増、対2018年度1.5%増)、国内売上高は同3.2%増 (対2019年度0.1%増、対2018年度▲0.0%減) で推移している。免税売上高は対前年432.4%増 (対2019年度5.7%増、対2018年度19.2%増) で推移している。

2) SC事業

- 6月度のテナント取扱高は、春におこなった改装ショップの好調推移、増加する訪日外国人客の取り込み、また人気コンテンツのポップアップショップや展覧会の開催により、全店舗計 (既存店) で対前年18.9%増となった。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J.フロント建装が、ホテル内装工事の好調継続により大幅増収となり、パルコスペースシステムでも増収であったことから、全体でも大幅増収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、加盟店手数料、割賦販売手数料は増加したものの、年会費の減少などにより、微減収となった。
- その他は、半導体市況の改善により電子部品が好調であった卸売業の大丸興業が増収となり、全体でも増収となった。

【お問合せ先】 J.フロントリテイリング株式会社 コーポレートコミュニケーション室
 IR推進担当 TEL 03-6865-7621
 グループ広報担当 TEL 03-6865-7616

2023年6月度 百貨店事業 営業報告(総額売上高)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	6月度		上期累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	31.6	61.0	33.6	57.5
大丸 梅田店	12.0	24.9	18.3	30.7
大丸 東京店	24.0	25.0	32.6	38.0
大丸 京都店	11.8	2.7	14.6	8.4
大丸 神戸店	13.3	9.0	10.1	8.8
大丸 須磨店	▲0.8	▲4.2	0.9	▲1.7
大丸 芦屋店	▲3.1	▲3.3	1.1	▲0.8
大丸 札幌店	16.4	13.0	16.4	19.7
大丸 下関店	▲4.3	▲12.1	▲6.6	▲5.6
松坂屋 名古屋店	10.9	8.6	10.7	7.5
松坂屋 上野店	6.5	18.6	6.4	23.3
松坂屋 静岡店	3.1	▲4.3	3.0	▲0.2
松坂屋 高槻店	▲3.8	▲2.5	▲4.2	0.5
店 計	15.2	16.5	16.4	21.2
法人・本社等	▲23.9	-	▲17.9	-
大丸松坂屋百貨店合計	13.4	16.5	14.5	21.2
うち商品売上高	13.4	-	14.7	-
うち不動産賃貸収入	14.3	-	10.8	-
博多大丸	16.7	22.0	14.0	16.6
高知大丸	▲6.2	▲5.6	▲1.9	▲6.9
百貨店事業合計	13.4	16.6	14.3	20.6

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	6月度	上期累計
紳士服・洋品	▲3.9	▲2.8
婦人服・洋品	19.1	18.2
子供服・洋品	19.3	10.4
その他の衣料品	4.7	4.6
衣料品計	15.9	15.0
身 回 品	7.6	11.8
化粧品	32.4	28.5
美術・宝飾・貴金属	7.0	17.5
その他雑貨	6.1	24.2
雑 貨 計	17.3	22.5
家具	9.7	6.1
家電	▲2.6	18.1
その他の家庭用品	3.9	2.4
家庭用品計	5.3	3.5
生 鮮	2.5	2.3
菓 子	10.4	16.0
惣 菜	6.8	9.5
その他食料品	4.7	5.6
食料品計	6.9	10.1
食堂・喫茶	20.4	28.7
サービス	8.3	13.2
そ の 他	▲0.3	▲1.4
合 計	13.4	14.7

3. 営業概況

- ・ 婦人服・洋品はラグジュアリーブランドが好調を継続したほか、ワンピース、ジャケットもよく動いた。紳士服・洋品では、布帛シャツやパンツが動いたほか、アウトドア用品も好調であった。身回品では天候不順によりパラソルやサンダルが苦戦したものの、旅行用品は好調を継続した。雑貨では化粧品が大きく売上を伸ばしたほか、時計も好調であった。食料品は洋菓子が好調を継続したほか、神戸店で実施した北海道物産展がTV放映効果もあり売上増に貢献した。

2023年6月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	6月度	上期累計
札幌PARCO	34.6	34.7
仙台PARCO	10.6	16.4
新所沢PARCO	▲10.4	▲9.2
浦和PARCO	7.0	8.6
池袋PARCO	24.7	19.7
PARCO_ya上野	26.5	30.2
ひばりが丘PARCO	3.6	6.6
吉祥寺PARCO	21.0	22.7
渋谷PARCO	56.0	60.9
錦糸町PARCO	21.7	22.0
調布PARCO	6.4	8.5
松本PARCO	▲3.0	▲1.5
静岡PARCO	0.6	▲3.7
名古屋PARCO	4.0	7.4
心齋橋PARCO	49.1	51.8
広島PARCO	7.3	7.5
福岡PARCO	28.8	26.7
全店計	14.2	15.3
既存店計	18.9	20.0

※注) 1. 津田沼PARCOは、2023年2月末日をもって営業を終了しました。
2. 既存店計には、津田沼PARCOの前年実績値を含みません。

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	6月度	上期累計
衣料品	8.3	10.1
身回品	15.3	15.4
雑貨	24.8	22.1
食品	▲2.7	▲3.0
飲食	17.7	25.4
その他	20.0	23.1
合計	14.2	15.3

3. 営業概況

- ・ 6月度のテナント取扱高は、春におこなった改装ショップの好調推移、増加する訪日外国人客の取り込み、また人気コンテンツのポップアップショップや展覧会の開催により、全店舗計（既存店）で対前年18.9%増となった。
- ・ アイテム別取扱高では、アニメ・ゲームコンテンツを含む雑貨が対前年24.8%増、旅行などのサービスを含むその他が好調に推移し同20.0%増と伸長した。